



議員でつくる広報誌

むかわ議会だより



2P～3月定例会

7P～令和3年第1回、第2回臨時会

8P～令和3年度各会計予算審議

12P～ここが聞きたい！8人の議員が一般質問

21P～委員会報告（総務厚生・経済文教・

胆振東部地震復旧復興）

No. 57

2021.4.30 発行



むかわ町議会

☎054-8660 北海道勇払郡むかわ町美幸2丁目88番地



議会広報委員会

☎ 0145-42-2486 FAX 0145-42-4994

ししゃもふ化場整備 1 億 604 万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業 5483 万円

一般会計 90 億 2460 万円可決

(震災の復旧・復興のための大型事業が終了のため減額予算となりました)

会 計 名		3 年度予算	2 年度予算	前年対比率 (%)
一 般 会 計		90億2460万円	102億2256万円	88.3
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 会 計	16億5254万円	17億 411万円	97.0
	後期高齢者医療会計	1億5025万円	1億4255万円	105.4
	介 護 保 険 会 計	8億9984万円	9億2410万円	97.4
公会 営 企 業計	上 水 道 事 業	5億7404万円	7億1734万円	80.0
	下 水 道 事 業	7億4494万円	6億 480万円	123.2
	病 院 事 業	3億9407万円	2億6817万円	146.9

令和3年第1回議会定例会は、3月8日から12日まで5日間開催し、町長の執行方針、教育長の執行方針が示されました。また本会議の他に各会計予算審査特別委員会が開催されました。8名の議員が一般質問を行い、本会議では同意4件、令和2年度補正予算、令和3年度予算を含む議案36件、議員から提出された発議1件、意見書案3件について審議し、全て原案の通り可決しました。

令和3年度主な事業

- ・ 苫小牧広域森林組合施設整備補助金・・・7 億 1 1 0 5 万円
- ・ ししゃもふ化場整備・・・1 億 6 0 4 万円
(総予算額：6 億 4 6 0 0 万円)
- ・ 広域情報告知端末等整備（継続）・・・1 億 2 8 0 6 万円
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・5 4 8 3 万円
- ・ まちなか再生事業・・・2 8 6 4 万円
- ・ 恐竜ワールド構想の推進・・・3 3 3 8 万円
- ・ ほたて稚貝放流事業・・・9 0 0 万円
- ・ 地域おこし協力隊活動支援事業・・・5 3 7 0 万円

●穂別 679 番地
中村 由美氏（再任）

●美幸 4 丁目 43 番地
前田 幸男氏（再任）

●田浦 200 番地 14
馬場 信悦氏（再任）

◆固定資産評価審査委員
の任命



●穂別 212 番地 3
紀藤 康宏氏（新任）

◆教育委員会の委員任命

【同 意】

【議案審議】

一般会計予算

◆令和3年度一般会計予算

予算審査特別委員会に審査を付託。

特別委員会審査報告を受け本会議で可決しました。

特別会計予算

◆令和3年度特別会計予算

予算審査特別委員会に審査を付託。

特別委員会審査報告を受け、本会議で後期高齢者医療特別会計について反対討論が出されました。

【反対討論】

北村議員 広域連合負担金を軽減すべきである。

【賛成討論】

佐藤議員 高齢化社会でやむをえない。

特別会計予算は本会議ですべて賛成多数で可決されました。

令和2年度補正予算

◆一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ3億810万円を減額し、120億4千万円としました。

問 **大松議員** 新型コロナウイルス感染症対応事業で、4千万円を計上しています

が、PCR検査もこの予算の中で行っていくべきであると考えますが。

答 サテライトオフィス環境整備について、高校の仮設寮を活用するということが、詳しい説明を。

問 **佐藤議員** ホストタウンについて説明を。

は、施設の中の改修費を予定しており、設置場所としては穂別地区を考えています。

問 **東議員** サテライトオフィス環境等整備ですが、本庁の横に設置をして確定申告、選挙投票所に使用したいという説明でした。

答 オリンピック・パラリンピック気運醸成事業です。今回のホストタウンについては、昨年むかわ町とリトアニア国が意向協定を結んだ縁もあり、内閣府から地震被災3町でのホストタウンの提案があり受け入れをしました。

今後、リトアニア国との有益な交流を期待しています。



住みたい町のために

問 **野田議員** まちなか復興賑わい創出事業の補助金を1700万円減額していますが理由は。

の説明が最初にありました。公共施設使用と民間利用の整合性はどのようになっていますか。

答 事業者、民間との調整はこれからです。穂別地区へのモバイルハウス設置は、規模は3棟を予定しています。葬儀等の活用については、あくまでも事務所機能という考え方ですので、そういった利用形態は想定していません。

モバイル仮設住宅を穂別地区にも設置したい旨の説明がありました。

モバイル仮設の占用量はどれくらいになりますか。

モバイル仮設再利用は、民間の利用を促進したい旨

の活用方法について検討は。

利用方法について検討は。

利用方法について検討は。

利用方法について検討は。

コロナウイルス感染症対応事業の4千万円の補助金運用については。

サテライトオフィスについて、どのような理由でモバイル型の家を買うようになったのかその根拠は。

答 まちなか復興賑わい創出事業の減額は、コロナ禍で各種イベントの自粛を余儀なくされ、大きな減額となりました。

コロナ交付金の運用については、個々の事業実施が具体化しているところには内容を精査して運用しています。

サテライトオフィスは、モバイル型ということでの移動が可能であることから多様性があります。

被災した高校生徒寮のレガシー等震災を忘れてはならない等の理由で有効活用することにしました。

◆国民健康保険特別会計補正予算

保険事業勘定歳入歳出予算の総額から6458万円を減額し、歳入歳出予算総額を12億1400万円としました。

直診断定歳入歳出予算の総額から4215万円を減額し、歳入歳出予算を3億9586万円としました。

◆後期高齢者医療特別会計補正予算

予算の総額に、広域連合負担金570万円等を加算し、予算総額を歳入歳出それぞれ1億4800万円としました。

◆介護保険特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から保険給付費等7200万円を含む7880万円等を減額し、歳入歳出予算総額を8億7300万円としました。

◆水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出、資本的収入及び支出の予定額を次の通り補正しました。

収益的収入及び支出の既定予算からそれぞれ727万円を減額し、2億9192万円としました。

また、資本的収入は6621万円の減額により2億

3322万円に、資本的支出は9804万円の減額により3億2552万円としました。

◆下水道事業会計補正予算

収益的収入及び支出、資本的収入及び支出の予定額を次の通り補正しました。

収益的収入及び支出の既定予算からそれぞれ570万円を減額し、3億3544万円としました。

また、資本的収入は4800万円の減額により1億1135万円に、資本的支出は4800万円の減額により2億1695万円としました。

◆病院事業会計補正予算

収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正しました。

収益的収入及び支出の既定予算にそれぞれ1億766万円を追加し、収益的収

入は2億8499万円、収益的支出は3億1135万円としました。

◆損害賠償の額の決定に関する件

平成18年に退職した元職員に対する退職金147万5千円を支給しました。

◆まちづくり計画（合併新町建設計画）の変更に 関する件

東日本大震災等に伴う地方債の特例に関する法律に基づき計画を変更。

ししやもふ化場の整備、博物館を含む周辺エリアの整備を新たに追加。

◆第2次まちづくり計画の策定に関する件

第1次まちづくり計画が令和2年度で終了することから、今後10年間のまちづくりの町政運営の指針として策定するものです。



ひと休み ひと休み

問 野田議員 第2次の計画実行にあたり、事業実施について毎年達成しているかどうかの結果の発表は。

答 達成状況、事業の効果検証は、次年度の予算に反映できるように年度終了後に検証します。

まちづくり委員会の意見も頂き、必要があれば改善を加えて効果的な施策に取り組みます。

問 大松議員 実行計画は3年ごとに決めていくということですが、この実行計画はいつ作られて、提示できますか。

答 実行計画は毎年、次年度の予算編成前に作成し、その中で次年度の予算編成に事業配置します。

問 北村議員 現行のまちづくり計画をどのように第2次まちづくり計画に反映

しましたか。

この計画の中で町民一人ひとりが新町実現に参加するという形が見えづらいたつですが、計画作成にあたってどのような配慮をしましたか。

答 「人と自然が輝く清流と健康の町」という基本理念を引き継いでいます。

計画作成にあたつては、まちづくり委員会が3つの部会に分かれて議論し、350を超える施策が出てきました。

これはすべて町にやってほしいということではなく、自らもやっていくのだという決意のもとで皆さん真剣に議論して頂きました。

この町を住みやすい町にしていくのだという強い思いで意見集約ができたと思っています。

問 大松議員 「町民一人ひとりが希望どおり結婚・



優勝はだれ？

すが。

答 結婚支援対策の内容ですが、表現を見直します。

問 舞良議員 道路整備事業に関連して穂別市街地に

植栽しているメタセコイヤの管理ですが、根が排水溝歩道に入りでこぼこになっています。

また枯れ枝が歩道に落下し危険を感じます。これらについても検討すべきと考えますが。

答 街路樹の生えているところは北海道の道道になります。

今後道とも協議して対応していきたいと思っています。

問 三上議員 高齢化に向けた福祉避難所の整備、充実が今後一層必要です。防災備品や避難所の環境整備を進めるうえでの方向性についてどのような見解

を持っていますか。

答 胆振東部地震の時に福祉施設のほうから声がけがあり、福祉避難所を四季の館の横に設けました。

これは全国でもあまり例のないことと聞いております。

今後、福祉施設等と災害協定を結び、大きな災害が発生した時には福祉避難所として各施設で対応していただけるように体制を整えていきます。

問 東議員 在宅・施設サービスの充実、「介護人材の育成確保」について、計画書には、介護人材の確保人数等目標数値など指針、指標を設定する必要があると考えますが。

また、介護関係では若い人だけに介護を任せるのではなく、健康な老人が介護できるようなシステムの構築も必要だと思いますが。

答 介護施設に関わる人材

の目標人数については、事業所の在り方などにより介護人の人数が変わるので、今回目標数値を示すのは難しいという判断をしています。

介護人材の育成は、介護職員奨学金返還支援、あるいは「介護者（ケアラー）支援」を地域包括ケアセンターで調査研究を進めていきます。

問 中島議員 第2次まち

づくり計画の中に歴史的建造物の有効活用を掲げてあります。この中に旧布施旅館は含まれていますか。

答 旧布施旅館は歴史的に

も本町において貴重な建物であり、震災による解体も町で行っています。

まちづくり計画では交流拠点施設の整備を目指すことになっていますが、その中での歴史的建造物の活用

も考えています。

◆辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更に
関する件

穂別稲里辺地における事業料及び辺地対策事業債の
予定額追加。

◆町道の路線の認定に
関する件

福住2丁目の道路用地寄附行為により、周辺民家の生活道路に供するため町道認定を行います。

条例の一部改正

条例改正議案15件の説明は紙面の都合上割愛させていただきます。

◆ししやもふ化事業推進基金条例案

◆課設置条例及び総合支所設置条例の一部を改正する条例案

◆職員の育児休業などに関する条例の一部を改正する条例案

◆税条例の一部を改正する条例案

◆国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

◆手数料徴収条例の一部を改正する条例案

◆税外諸収入に関する条例の一部を改正する条例案の一部を改正する条例案

◆生活館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

◆国民健康保険条例の一部を改正する条例案

◆介護保険条例の一部を改正する条例案

◆指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例案

◆国民休養地野営場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案

◆道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案

◆町道の構造の技術的基準を定める条例の一部を改正する条例案

◆町民交通傷害保障条例を廃止する条例案



気をつけて いってらっしゃい

【議員発議】

◆町議会委員会条例の一部を改正する条例案

4月1日から施行する行政の機構改革に伴う「課」の名称等の変更に起因する改正。

【意見書】

採択された意見書

●北海道への「核のゴミ」持ち込みに反対する意見書

提出議員 野田議員

●国民健康保険料（税）の子供均等割り免除の拡充に関する意見書

提出議員 野田議員

●高齢者施設と医療機関の職員や入所・入院者全員を全額国費で一斉・定期的検査を求める意見書

提出議員 野田議員

令和3年 第1回議会臨時会

2月4日に開催され、議案1件を可決しました。

【議案審議】

◆令和2年度一般会計補正予算

1億5562万1千円を追加し、総額123億4836万1千円とする。

※補正の主なもの

●医療福祉介護感染対策強化支援金

762万円

●新型コロナウイルス感染症対応児童福祉施設等従事者慰労金給付事業

509万円

●新型コロナウイルスワクチン接種事業

616万円

●飲食店経営緊急支援事業

1020万円

●胆振東部消防組合運営事務負担金

1億1075万円

問 大松議員 ①児童福祉施設等への慰労金の支給はいつ頃になりますか。

②新型コロナウイルスワクチンの接種体制は。

答 ①3月中に支給できるよう進めます。

②広い会場で集団接種する方向です。また、接種の際は保健師による聞き取りを丁寧におこない、スムーズにできるように進めています。

令和3年 第2回議会臨時会

3月30日に開催され、議案3件を可決しました。

【議案審議】

◆工事請負契約の締結に関する件

その他林道春日旭岡線（第3号箇所）災害復旧工事

1億2980万円

（契約者・長尾工業㈱）

◆固定資産評価審査委員会条例の一部改正

行政不服審査法施行令の改正に伴う一部改正。

◆令和2年度一般会計補正予算

6245万6千円を追加し、総額121億272万8千円とする。



気持ちを新たに

予算審査特別委員会

令和3年度各会計予算審査特別委員会が3月10日・11日・12日の3日間で審議しました。

一般会計、他6会計の審査は、議長を除く12名の委員で審議され、審査の結果すべて認定すべきものと決定しました。

LED化で経費削減

問 山崎満敬委員 公共施設の照明をLED化で基本

契約を下げ、経費の削減を考えていますか。

また、電気の売電価格について、民間など見積をと

答 LED化でどのくらい電気料金が変わるか推移を

見たいと思っています。

現在、契約の変更は考えていませんが、4月からLED化され料金が下がるものと考えています。

現在、北海道電力と契約をしています。電気料金節

約の中で、民間の電力活用でのメリット・デメリットを含めて検討します。

ふるさと納税に遊休施設の貸し出しを

問 山崎委員 ふるさと納

税の中に産品だけでなく、例えば、仁和の体育館などの貸し出しなどを含めては。

答 地域の情報発信PRが重要と考えています。

今後取り組みの中で検討し、進めていきます。

恐竜プロジェクト事業

問 北村修委員 恐竜ワ

ルドセンターと地域商社のすみ分けは。

答 恐竜ワールドセンターは、教育的分野に重きを置

き今後進める考えです。地域商社は、商品開発を中心に進める考えです。

問 大松紀美子委員 地域

商社へ出資をしますが、簡単に他からの出資を得て自立することが可能なのか。

答 金融機関で構成されて

いる地方創生ファンドがあり、出資を受ける予定ですが、出資が受けられなければ町として出資する考えはありません。

桜の丘を満開に

問 津川篤委員 桜の木

の生育状況で、桜の森にしたいと意欲が感じられませんが、予算を増額してもよいのでは。

答 定期的に確認をしています。なかなか満開まで行

きませんが、以前より花が多くなっています。



迫力満点

質問

ズバリ聞きます

住民の足確保は

問 大松委員 JR 鶴川・

様似間廃止に伴う汐見地区のバス利用状況と利便性について。

また、歳入1800万円の内容は。

答 代替バス利用は1日3名ほどです。

バス運行業者と打ち合わせをし、日高線との接続をよくする形で運行してきました。

1800万円はJRからの拠出金で、年間100万円、18年間です。

運行経費を年間70万円から100万円で見込んでいて、地域の足を守って行きます。

四季の館の魅力増を

問 中島勲委員 調査委託

料の中身と、足湯設置の考えは。

答 建物全体の老朽度合いなどを調査し、修繕計画を立てます。

足湯は、今後の展開の1つとして考えます。

空気清浄機の設置は

問 三倉英規委員 集落セ

ンター・町民会館、コロナ禍の中、空気清浄機の設置が必要では。

答 各施設利用者の確認をとり、貸し出しの対応で考えています。

使いやすい促進事業に

問 東千吉委員 新穂別農

業活性化推進基金で穂別地区は、協同組合の違いにより基金が使いづらく考え方を変更しては。

答 穂別地区の基金は、独自の活用方法として、50対50の割合だけでなく、持

続・継続性が考えられる活用方法がある場合は、100%使えるような提案をしています。

今後、将来に向けて検討していきます。



母の日に向けて

ししゃもふ化場事業

問 大松委員 ふ化場に展示室を作る考えは。

答 展示施設の構想もありましたが、ふ化場の稼働は

秋口から春までで、魚がいるのは一瞬で卵だけになり

ます。

見学向きではなく、また、経費の関係で取りやめました。

期間だけのパネル展示やPRなど検討します。

マツカワ放流事業

問 佐藤守委員 マツカワ

の放流事業で、ししゃもの稚魚が捕食されているのではないかとの話があります。研究は進んでいますか。

答 ししゃもの減少について、マツカワが捕食することがありますが、主たる原因ではないと認識しています。

質問

ズバリ聞きます

ほたて稚貝放流を再開

問 佐藤委員 洪水被害が考えられるが見解は。また、放流場所の選定は。

答 漁業者の出資金が少ないこと、漁獲共済などの対応で経営の安定を図ります。

稚貝の放流は、水産技術普及指導所の調査、天然貝の稚貝の発生等を見ながら場所を選定して放流すると聞いています。

問 津川委員 この事業は単年度だけではなく、継続していく考えですか。

答 3年間の予定で、1回目の漁獲後に、漁業者が資金を積み立てて稚貝放流を行う予定です。

森林組合製材工場の改築を支援

問 中島委員 町補助金3億9287万円ですが、減債基金を作り、年度別に返済すべきと思いますが、財源の確保は。

答 財源は、辺地対策事業債を活用します。

8割の3億1360万円が交付税で戻り、2割の7927万円が町の負担になりますが、固定資産税が町に入る予定です。

林業振興対策事業

問 北村委員 ①森林青年部との連携の内容は。
②北海道北の森づくり専門学院の活用内容は。

③胆振東部地震における森林被害に対する進め方について。

答 ①現在はコロナ禍のため活動を休止していますが、若い人がいろいろやりたいことがあるようで、事業を見て連携していく形になります。

②実習地の提供と学生の負担軽減のため関連団体へ10万円出資しています。
③林道はおおむね復旧が終了しています。

職員給与費

問 三上純一委員 ①前年度より約2千万円の減額ですが、職員数に変化がありませんが、減額の理由は。

②職員の負担が増加していると思われませんが、予算計上の留意点は。

③職員の負担軽減と行政サービスの向上を図る中で、今後の職員体制のあり方については。

答 ①採用と退職の差です。
②令和元年度より働き方改革の推進に取り組んでいます。

③課設置条例・総合支所設置条例をふまえた新しい組織機構の中で分析をし、職員の勤務のあり方、業務執行体制のあり方を検証し進めます。



被害を減らす

質問

ズバリ聞きます

債務負担行為

問 北村委員 これまでにない数の多さですが、町としての考え方は。

答 平成30年度以降件数が増えています。

コンピュータ・車両購入では、単年度での費用が大きく、単年度の支出を低く抑えるため、近年北海道備荒資金組合の車両譲渡事業等を活用し、5年程度で支払いをする事業を行っています。

LED事業は、10年リースですが、電気料金の減額によりリース料金を支払いしても全体で金額が下回る事業を行っています。

鵜川高等学校通学定期券助成事業

問 中島委員 定期券助成の内容は。

答 苦小牧方面からの生徒の利便性、また、保護者の負担軽減対策をし、併せて生徒確保につなげます。

町税

問 北村委員 町税が増加していますが内容は。

答 漁業収入は減少、農業収入は例年並み、その他所得と譲渡所得は増加傾向です。

新型コロナウイルスの影響は、営業所得を10%減少と捉え予算計上しています。

財政調整基金

問 大松委員 震災で基金が減少し、令和3年度末で

も基金が減少する見込みです。

町として、基金に対する考え方は。

答 危機の時に有効活用するのが財政調整基金です。必要ラインの6億円から11億円を頭の中に描きながら、今までにない状況に対応するために、有効活用しながら今後に向けていきます。



新しい鵜川高校生徒寮

むかわ町の ことが聞きたい

3月定例会では、8人の議員が17件の一般質問を行い、活発な質疑を展開しました。
質問と答弁を要約した内容は、13ページから20ページです。

17ページ

舞良喜久 議員

○災害対策と避難所の対策は

18ページ

野田省一 議員

○コロナ禍で販路拡大策は

○助け合い型移動サービスの進展は

19ページ

中島 勲 議員

○財務状況について

○公共施設の見直しについて

20ページ

北村 修 議員

○コロナ禍、地震からの復興の中での
町の方向性は

○ししゃもふ化事業は

13ページ

山崎満敬 議員

○宮戸地区に防火水槽の整備を

○町内でのPCR検査を、ワクチン
接種に向けては

○商工業者への新たな支援策は

14ページ

大松紀美子 議員

○国保税・均等割り5割軽減を18歳
までに

○新型コロナワクチン接種の情報公
開を

15ページ

佐藤 守 議員

○平地でのエゾシカ対策は

○津波予想改正への対応は

16ページ

東 千吉 議員

○高校存続のため、特色ある教育現
場を

○町内事業者中心の事業、工事等の
発注制度を

○地域自治区間の連携に行政がリー
ダーシップを

※紙面の都合上、掲載していない質問項目
もあります。

宮戸地区に 防火水槽の整備を

支署と検討協議を

問 1月18日午前2時頃宮戸地区で家屋の火災があり、鎮火までに時間がかかりました。

水源が消火栓のため限度があると考えます。

今回、イモツペ生活館が整備されますが、駐車場用地には余裕があり、生活館を含めた安心安全のため、防火水槽を整備する必要がありますが、

答 イモツペ生活館は、消火栓から140m以内にあり、基準は満たしています。今後、各消防支署と連携をとりながら対応していきます。

問 消防議会で、イモツペ生活館の駐車場に防火水槽が必要であるとすれば、町としての対応は。

答 消防法に基づく消防水利設置基準は、胆振東部消防組合・各消防支署で整備計画を持っています。

支署と検討協議をしながら整備が行われるべきと考えています。

・町内でのPCR 検査を ・ワクチン接種に 向けては

問 コロナ感染者の早期発見・感染拡大防止のため、町内でのPCR検査などを、どのように考えていますか。

答 町内の医療機関では医師の判断によって、簡易キットによる抗原検査を

施しています。
無症状の方には実施していません。

問 ワクチン接種に向けての対応は。

答 鶴川地区では、四季の館・集落センター等3カ所、穂別地区では、ふれあい健康センターを会場とし、介護施設・障がい者施設にも巡回する予定です。

厚生病院・穂別診療所と定期的に会議を開催し準備を進めています。
実施に向け心配な点がある場合は、必要に応じてシュミレーションし、確認していきます。



やまざき みつよし
山崎 満敬 議員
YAMAZAKI MITSUYOSHI



あー きれいになった

商工業者への新たな 支援策は

問 商工業者への新たな支援策の考えは。

答 新型コロナウイルスの影響は長期化が予測されます。消費喚起対策としてのプレミアム商品券発行事業は、新年度も支援していく考えです。

地域産業への影響をこれまで以上に注視し、商工会と連携をしながら必要な対策をしていきます。

問 納入業者への支援の考えは。

答 商工会と意見交換、金融機関等と情報を共有し、地域実情をそれぞれが確認し合いながら対応を考えていきます。

国保税・均等割り 5割軽減を18歳までに

国への要望・提案に努めます



おおまつ きみこ
大松紀美子 議員

OOMATSU KIMIKO

です。

国はやっと、国民や公共団体の要望を受け国保税・子どもの均等割の5割を、未就学児に限り来年4月から軽減することを決めました。

子育て支援の町として、負担軽減の対象を18歳まで拡大する考えはありませんか。

答 子育て世代の負担軽減制度は、全国町村会からも国に対し、粘り強く要望してきました。

対象の引き上げは同じ思いますが、今後も国に対し要望・提案に努めます。

高すぎる国保税が暮らしを圧迫しています。

問 中小企業の労働者が加入する協会けんぽ保険料本人負担分は、国保税の約半分

町の未就学児は何人ですか。また、18歳までは何人ですか。

軽減額はいくらになりますか。

答 未就学児は延べ102名、18歳までは173名です。

未就学児の軽減額は約86万円から約232万と、145万円増となります。

18歳までの軽減を行うには（町独自で）265万円が必要です。

問 18歳まで軽減対象を拡大して「子育て支援の町」をアピールする考えはありませんか。

答 町は、子育て世帯の経済的支援、保育料の軽減、子どもの医療費助成など独

自の上乗せ支援を行っています。

新たなまちづくりの中でも、子育て支援を重点的課題と捉えています。

新型コロナウイルス 接種の情報公開を

問 2月から、医療従事者へのワクチン接種が始まっています。

接種計画と体制はどのようになりそうですか。
またワクチンの安全性、有効性、副反応などのリスクについての情報公開はどのように行いますか。

答 高齢者への接種を5月から随時開始の予定です。接種は集団接種を中心に実施します。

町と二つの医療機関で、ワクチン接種体制を構築し、万全な体制で対応します。安全性などの情報公開は、対象者への個別通知をはじめ

め、広報、ホームページで周知します。

コロナ専用電話回線も設置します。



おはようございます

平地でのエゾシカ対策は 移動式箱わなで捕獲



さとう まもる
佐藤 守 議員
SATOU MAMORU

問 最近平地でのエゾシカによる被害が増えています。現状と対策は。

① 農業被害額の推移と二宮、旭岡地区の囲いわな、田浦、宮戸地区の移動式箱わなによる捕獲数は。

② 移動式箱わなの導入の考えは。

答 **①** むかわ町の農業被害額は平成29年1億1000万円、平成30年9000万円、令和元年7600万円です。

② 囲いわなによる実績は平成30年に二宮104頭、旭岡149頭、令和元年二宮67頭、旭岡27頭です。

銃による駆除数は平成30年1183頭、令和元年922頭、令和2年1623頭です。

② 箱わなの導入については、銃器による捕獲が難しい箇所への設置です。

新たなモデル対策を目的にしていますが効率や特性を分析し普及に努めます。

問 囲いわなの捕獲は林業被害減少にも繋がりますが

捕獲数減少の要因は。

答 捕獲の効率を上げるためセンサーカメラとシャッターを設置してますが、猟銃で処理するため血の臭いなどの影響があるかも知れませんので方法を考えながら進めていきます。

問 平成23年にシカ柵の設置が始まりましたが、1か所のほころびで台なしになります。

シカ柵点検の要請は。

答 多面的機能支払交付金を活用しながら地域で取り組んでいます。管理の大切さを普及できるように進めていきます。

問 津波予想改正への対応は

綿密に避難計画を作成します

問 2月13日東日本大震災から10年目に、福島県沖6強の地震がありました。他人ごとではありません。復興最中のむかわ町ですが、津波予想が10m等に改正されるようです。津波避難マニュアルはどのように。

答 内閣府から日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震による津波浸水の概要が発表され、本町には46分で第1波が到達との予想があります。

詳細については北海道が令和3年中に公表予定です。40分程度で鶴川市街地、田浦地区、汐見地区などの住民を避難させるため、綿密に避難計画を作成する必要があります。

問 報徳館の一部が土砂災害警戒区域に指定されています。災害時に大勢の町民を収容できる施設です。全面活用できる方法は。

答 平成27年北海道から一部土砂災害警戒区域に指定されていますが、特に影響があるとされている場所は建物のごく一部です。避難所として活用するときは万が一に備え2階等をお願いします。



大事なシカ柵点検

高校存続のため、 特色ある教育現場を 公営塾を開設します

問 鶴川高校は野球、穂別

高校は地元資源活用という意味で、恐竜を活かした教育現場をつくり生徒確保を図ってはどうか。

答 来年度から町内高校生を対象に公営塾を開設する予算を計上しています。

また、小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業を実施しています。



あずま ちよし 議員
東 千吉

AZUMA CHIYOSHI

町内事業者中心の事業、工事等の発注制度を

従来どおり要綱基準に基づきながら 発注を行います

問 令和3年度の全体予算額が約90億円、過去2年の予算額は150億円前後です。

一気に仕事が減ることをしっかりと考えて、満遍なく町内業者に上手に行き渡るような方向性が重要では。

答 過去2年間は災害という事情により、通常では考えられない発注状況でした。依然として災害絡みの大型事業等も組み込まれています。

基本的には競争入札ですが、機会だけは均等に与えられる発注体系を今後とも続けていきます。

地域自治区間の連携に 行政がリーダーシップを

協働のまちづくりに

努めていきます

問 地域特性や資源を活用した取り組みは、費用対効果を考えた時、町民一丸となった協働を重点とした取り組みが必要です。

地区を分けた検討を続けていくべきではないと考えます。

地域を担う若い人たちは既に「むかわ町は1つ」と思っています。

民と官の連携による協力、また民の力を利用しながら前へ進むむかわ町へ、行政がリーダーシップをとるべきでは。

答 今回のまちづくり計画にも地域自治区制度の検証を表現、合併10周年を記念して策定した町民憲章、ま



必要な公共事業をもっと

災害対策と避難所の対策は

速やかに適正な対策をしていきます



もりよ よしひさ
舞良 喜久 議員
MORIYO YOSHIHISA

問 胆振東部地震から2年半になりますが、本庁舎は

半になりますが、本庁舎は
海拔6.7メートルで災害
対策本部が設置されます。

今後の地震で9.8メー

トルの津波が来ると答弁し
ていますが、その時の対応
はどのように。

答 大津波警報発令時の災

害対策本部設置については、
当面の間、鶴川中央小学校
に設置することとしていま
す。

その後、新たに建設して
いる消防署鶴川支署完成時
に本部機能を速やかに移行
して、綿密で適正な避難計
画が必要と考えています。

問 穂別町民センターの避
難所の件ですが、過去にス

キー場方向から大雨時、土

砂等が流れてきて、周囲が
水浸しになったことがあり
ました。電源喪失もありま
した。対応は。

答 イエローゾーンの警戒

区域に位置していることは
認識をしています。

早い段階で危険箇所のパ
トロールを行い、別の避難
所に変更するなど、早めの
対応をしていきます。

問 コロナ禍での避難対応
はどのように。

答 ソーシャルディスタン
スを保ち発熱した人を隔離
します。

避難所が足りない時は、
2月24日に町内の寺院、宗

教団体と災害時における施
設利用に関する協定を締結
しましたので、一時的に避
難所として使用することが
出来ます。

また、避難所に指定して
いない公共施設の利用も考
えています。



非常時に備える第一歩（発電機）

コロナ禍で販路 拡大策は

事業化の必要性を調査



の だ しゅういち 議員
野田 省一

NODA SHOUICHI

商工業では、飲食、娯楽関係、関連する小売の事業者に影響が及んでいると捉えています。

具体的な事業内容、財源内訳は別紙配布のとおりです。

問 新型コロナウイルスによる町の産業への影響を、どのように捉えていますか。

答 農業では前年度売上実績を上回ったが、花卉、雑穀類や畜産では影響を受けています。

問 影響を考え、新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時交付金をどの様に事業配分しましたか。

問 コロナ禍で販路拡大が必要となっていますが、産業関係者と協力し、ふるさと納税の商品開発をすることはできませんか。

答 状況の変化にも柔軟に対応し、必要な時期に、必要な対応が取れるよう、感染症対応や産業経営持続化支援をしています。

答 また、新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時交付金等で約7億2千万円交付を受けました。

答 貴重な意見として受け止め、事業者等の意欲、意向等の把握に努め、事業化の必要性について調査します。

林業では、林業事業体への影響は少なかったが、パレット材等の製材事業は減少しました。

水産業では、全魚種の平均単価が前年比9.3%減少主力魚種ホッキガイの単価が前年比12.6%と減少しています。

問 執行方針の「外出しやすき環境づくり」どのようなを想定していますか。また、以前から質問してきた、助け合い型移動サービスの進展は。

答 外出支援は通院、理美容院、買物、金融機関、役場等の手続等の外出の機会を増やすよう、制度の充実を図っています。

※地域商社の取組実績、取組目標値について
起業力耕上促進事業制度の取組実績、課題、改善についての質問は、紙面の都合で割愛しました。



消費者まで届け

また、新型コロナウイルス感染対応地方創生臨時交付金等で約7億2千万円交付を受けました。

今年度執行事業に約2億5千万円、翌年度に約4億4千万円充当します。

答 貴重な意見として受け止め、事業者等の意欲、意向等の把握に努め、事業化の必要性について調査します。

問 執行方針の「外出しやすき環境づくり」どのようなを想定していますか。また、以前から質問してきた、助け合い型移動サービスの進展は。

※地域商社の取組実績、取組目標値について
起業力耕上促進事業制度の取組実績、課題、改善についての質問は、紙面の都合で割愛しました。

財務状況について

問 胆振東部地震、新型コロナウイルス対策など新規事業が山積する中、財政構造も大きく変化していると思います。

① 町民税徴収、**②** 地方交付税、**③** 財政調整基金、**④** 減債基金、**⑤** 人件費の見通しについては。

答 令和3年度の一般会計予算は、前年度から約12億円減少し、90億2500万円となっています。

① 町民税を含む町税全体では、固定資産税において家屋、償却資産の課税客体が増加したことにより約5百万円の増加です。

② 地方交付税は人口の大幅減少を見込み、2億円の減少です。

③、**④** 財政調整基金及び減債基金の現段階での年度末推定残高は、それぞれ4億5千万円、7億円を超える

見込みです。

⑤ 人件費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業、選挙事務に関わる時間外勤務手当や委員報酬により1900円増加の見込みです。

今後の動向については前年度決算見込み、今年度当初予算のベースを基に、現在策定中の中期財政運営方針において、5カ年程度の推計値を年度内に示す考えです。

財政調整基金は、震災により約6億円を超える基金取り崩しをしなければ乗り切れなかった状況でした。令和3年度当初予算でも2億8千万円の取り崩しをしなければいけない状況です。

令和3年度以降については、財政調整基金積立金の適正化を図るべく、予算の収支バランスについて作業を進めています。

公共施設の利用見直しについて

問 役場本庁舎多目的スペース整備事業が策定されました。すなわち前高校野球部寮を買い取り役場事務所の一部にしようとするものですが、これを契機に関連する公共施設の利用を効率的に運用するため、根本的に見直す必要があると考えます。今後の施設活用計画については。

答 公共施設については令和3年度に施設の総合管理計画見直しを予定しており、施設ごとのそれぞれの方向性や可能性を含め、調査、検討をしています。

問 町外の観光客をより一層誘導するために、観光協会あるいは地域商社などは、点在する民間施設の借用ではなく四季の館に集中し、有機的な相乗効果を高め、本町の観光資源の有効活用につなげるべきと考えますか。

答 四季の館のスペース等を考えると、今の段階ではなかなか難しいのかなと思います。

問 ム・ペット館の利用について、本年度からアイヌ協会関連事務所、展示室が移動することから再度利用見直しを行うべきと考えますか。

答 アイヌ協会の事務所跡は今後、高校の公設塾として活用していく考えです。



美味しいレタス



なかじま いさお
中島 勲 議員
NAKAJIMA ISAO

コロナ禍、地震からの復興 の中での町政の方向性は

切れ目ない対策で今を乗り切り 地方創生へつなぐ



きたむら おさむ
北村 修 議員
KITAMURA OSAMU

問 コロナ対策事業予算は、切れ目なく実施すべき。繰越事業費では、対策に遅れが出るのではないか。

2月臨時会での福祉施設などへの支給事業の実態と進捗状況は。

答 感染対策、経済対策と今を乗り切り、その先につなげるために繰越明許とし、今補正予算成立後から発動できるものにします。

2月の施設等への事業費は、施設の中でどのように活用しているかは、まだ把握

握していません。

問 地震災害復興計画第1期が経過しました。生活再建等の到達状況の判断は。

答 仮設から転居の方は全員訪問しました。心のケアは、次年度以降も継続的に進めます。

問 まちづくり計画で行革などとの三位一体の内容と計画推進に係る財政計画が急がれますが。

答 まちづくり計画、行革大綱と中期財政計画を出せなかったが、新年度予算を含めたなかで年度内には示します。

問 経常経費の増加等を見直し財政計画をつくり直します。

答 まちづくり計画推進と合わせ、持続可能な行政運営の三位一体で進めます。

問 ①官民連携は必要だが、なんでも民営化ではなく、まちづくり等で自発的な協力連携が大事と思いますが。

答 ②公共施設総合管理計画の推進とあるが、国の方向は、過疎地域での統廃合の推進です。

地域のコミュニティを守る対応が求められますが。

答 ①官民連携は、穂別地区の保育園の民営化です。②公共施設管理は、個別計画はこれからであり、みなさんと協議を図りながら進めます。

ししゃもふ化事業は

行政が主体となって

問 漁業対策で①ホタテ事業の再開と支援で期待をしますが、再び海への土砂流入で被害とならないよう鶴川上流の山林地崩壊、土砂が滞留するダムへの土砂撤去など安全な漁業振興に努める考えは。

答 ②ししゃもは漁業者のみならず、加工販売業など町の資源です。ふ化事業は、行政が主体的な責任をもって進めることが必要ですが。

答 ①自然が相手であり、災害があることを覚悟のうえで取り組むと聞いていま

※汐見駅廃止による安心なバス事業を。宮戸沼の改修を。コロナ禍でも子ども集団活動など心豊かな教育のあり方についての質問は、紙面の都合で割愛しました。



大漁をめざして

す。②ふ化事業は、運営の主体は漁協、施設はむかわ町となるが、維持管理費も負担し、漁協などが負担とならない仕組みで取り組みます。

委員会報告

総務厚生常任委員会

必要な時に、
必要なサービス提供を

【調査日】令和3年1月14日、2月9日

所管課より次の調査項目の説明を受け質疑応答の後、意見を取りまとめました。

第7期介護保険計画の現状と課題 及び第8期介護保険計画の方向性 について

本委員会では10月に計画の現状と課題について聴取、意見交換を行ってきたが今回は、その後の経過と方向性について聴取し意見交換を行いました。

2月上旬にパブリックコメントで町民からの意見を募集し、2月下旬に再度、保健・医療・福祉推進協議会を開催し、計画の決定等を進める予定とされました。

○主な聴取内容

(1)経過報告

計画策定に向けては、7月9日に第1回目の保健・医療・福祉推進協議会を開催し、5月に実施した町の高齢者へのアンケートの取りまとめ推計により、7月と11月に地域ケア推進会議を開催し、地域課題や計画の検討状況を協議。

これらを踏まえ12月に開催した保健・医療・福祉推進協議会で説明を行いました。

今後、計画素案を作成し、



仲むつまじく

○主な質疑

問 計画の中で特別養護老人ホーム、グループホームについても3年間整備計画を協議するとなっているが、具体的でないのはなぜか。保険者である町が、具体的な姿勢を示すことが必要ではないか。

8期計画の中で定期的な協議を明記し、町が主体となつて3年で答えを出す必要があるのではないか。

答 実際に設置する事業者の経営関係もあり、事業者と協議を進める必要があります。

具体的計画を立てても介護人材不足もあり、記載できない現状です。

整備計画は、喫緊の課題として捉え、町と事業者が協議し続け、できるだけ早く前に進めるようにする計画です。

問 介護保険料については、試算では負担が増えることが懸念されるが、支払準備基金も増えていることもあり基金を取り崩しても保険料は据え置くべきと思うがどのように考えていますか。

答 基金は積立目的ではなく、取り崩すことにより介護保険料を調整して行くことが必要だと思っています。
現段階では、理事者協議がされていないので正確には回答することはできません。

○以上、本件は更なる調査が必要とされ、調査継続としたが、2月16日開催の全員協議会で第8期介護保険計画の説明を受け、介護保険料を据え置くとされた介護保険条例が3月定例会で上程されることから、一旦調査終了とされた。

新型コロナウイルス 感染防止対策に ついて委員会の今 後の進め方

○議員間での意見交換
新型コロナウイルス感染症
防止対策では、事業所への支給金におけるPCR検査ほかの実施状況、ワクチン接種等の現状と課題について聴取するとし、日程などは正・副委員長に一任し、調査継続とした。



ホールインワン？

委員会報告

経済文教常任委員会

まちの賑わいを消さない支援を!!

【調査日】令和3年2月9日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

新型コロナウイルス 感染症による 影響と対策に ついて

○主な聴取内容
コロナ禍のもと感染防止対策として、昨年春の道独自の緊急事態宣言に続き、第3波の中での北海道集中対策期間がありました。
飲食店は営業自粛と感染抑制から人出が止まり、営業に大打撃を受けています。
本委員会では「自粛要請は経済支援とともに」として町独自の経済支援を求めてきました。

○新たな取組と成果

実施されている商工業支援は3事業、既に終了となっている6事業についての結果の報告がされました。

○期待事業

①「ECサイト産品販売促進等補助事業」は、活用への取組があり、コロナ収束後の事業にも期待される。
②「おうちdeグルメ促進事業」は準備段階とされ、コロナ禍での新たな事業展開として期待される。

○コロナ禍での町内経済支援対策は、農・林・漁業の分野でも引き続き必要とされ、継続調査にしました。

◎主な意見

①飲食店等の営業の実態について、感染拡大が収まらず「厳しい状況」にあることが指摘され、2回目の飲食店経営緊急支援は、議会とも連携した「適切な対応」でした。
②行政支援とともに、地域内での内発的な循環型経済のさらなる取組が重要であり、町の賑わいを消さないための支援が引き続き必要です。

特別委員会(中間)報告

胆振東部地震復旧復興調査特別委員会

【調査日】令和3年2月9日、2月26日

所管課より説明を受け、質疑応答の後、意見を取りまとめました。

むかわ町復興計画の進捗状況について

○主な聴取内容

復興計画第1期（復興始動期）が令和2年度末のため、調査すべき課題は「まちなか再生計画」「心のケアと高齢者在宅支援対策進捗状況」「災害に強いまちづくり」などがあると判断しました。

委員会冒頭に、担当課からの聞き取り状況が報告され、委員間で意見交換を行いました。



新消防鶴川支署建設工事

◎主な意見

①被災空き地とまちなか再生に向けた早めの調査
②住宅支援対策と賃貸住宅助成措置のあり方
③農林水産業、商工業など分野ごとの対策と団体対応（特に林業被害と振興対策）
④復旧施設などの確認
⑤特別委員会のあり方と期限などの整理

○委員会のまとめ

復興計画の取り組みの中
コロナ感染症が発生してい
ます。

住民生活の変化と、行政
の新しい仕組みづくりなど
対応に変化が見られ、調査
の中で見極めが必要と考え
ます。

今後、中心的課題を「ま
ちなか再生」としながら、
新たな「まちづくり計画」
への融合、復興計画の在り
方を「住宅問題」「林業を
中心とした第一次産業の推
進と方策」「災害に強い防
災」「心のケア対策」など
での調査検討が必要と判断
しました。

特別委員会を継続し、令
和3年度内にまとめを行う
方向としました。

まちなか再生に向けた取組の現 状について

○主な聴取内容

基本構想は「復興計画」
での方向性を基本としなが
ら、鶴川地区（むかわまち
なか起死回生会）と、穂別
地区（穂別スクラムプロ
ジェクト）の住民組織であ
る「まちなか再生検討会」
からの提言を取り入れ、復
興計画の復興展開期（始期
令和3年度）から、復興創
成期（終期令和7年）まで
の5年間とします。

5つの戦略、10の実践目
標に15のプロジェクトで推
進します。

3月には、基本構想に基
づく、それぞれの検討会を
開催し、その後実行計画と
なる基本計画を策定し、ま
ちなか再生を推進すると報
告されました。



緊張の入学式

◎主な質疑・意見

- ①復興計画への位置づけと実行の在り方は
- ②博物館の位置がそのままで、まちなかと結びつくのか
- ③住環境もとする中で商業の位置づけ
- ④企業誘致の難しさ
- ⑤重点の絞り込み
- ⑥日常生活に欠かせないお店の配置等、多くの計画の中で、できるものからなどが出され、説明員から、まちなかでの住宅課題の問い合わせと、移住定住対策の検討を行い、実行計画に進みたいとの回答がありました。

○今後も、特別委員会として、適時に調査検討を進めることにしています。

議会事務局からのお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会議員が写真撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

表紙の写真



担い手として頑張る
田中 智也さんと
祖母の千枝子さん